



平成 28 年 12 月 20 日

各 位

上場会社名 株式会社リミックスポイント
代表者 代表取締役社長 小田 玄紀
(コード番号 3825)
問合せ先責任者 経営管理部長 花田 敏幸
(TEL 03-6303-0280)

平成 29 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 16 日付「平成 28 年 3 月期決算短信」で公表しました平成 29 年 3 月期（自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日）の通期の個別業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期の個別業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 28 年 5 月 16 日)	8,532	235	165	146	3.88
今回修正予想 (B)	4,687	49	26	25	0.68
増減額 (B - A)	△3,845	△185	△138	△120	
増減率 (%)	△45.1	△79.0	△83.9	△82.3	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	6,337	345	332	295	7.84

2. 修正の理由

エネルギー関連事業において、利益率が比較的高い省エネルギー化支援コンサルティング等省エネ関連事業は、当初計画を上回って着地する見込みであります。それに対して、収益の主要な柱の一つとして位置付けている電力売買事業に関して、電力小売全面自由化以降、高圧・特別高圧需要家の電力需給切替が市場全体としていまだ低調な環境の中、代理店開拓等による販売チャネルの拡大並びに契約電力量の拡大に精力的に努めております。これらの取組みの結果、多数の需要家に当社の提案をご検討いただいているところであります。ところが、電力需給契約の切替が高圧・特別高圧市場全体で約 8%程度にとどまっていること、新電力を含む大手電力会社との価格競争が激しくなっていること、需要家が複数業者からの相見積を取るなど契約切替に関して慎重な判断をする傾向があることなどから、顧客の新規開拓が当初予定どおりに進捗しなかったため、現在提案している案件に関する平成 29 年 3 月末時点における電力需給契約切替の見込状況等を電力需給契約の切替にはその申込みから約 2 ヶ月を要するというスケジュール上の要素も加味して考慮し、期初計画で見込んでおりました売上高を下回る見通しとなりました。そのため、エネルギー関連事業のセグメント別売上高は当初計画の約 55 億円から約 17 億円への大きく減少する見込みであります。

その結果、営業利益、経常利益、当期純利益が予想を下振れる見込みとなりましたので、業績予想を修正するものであります。

また、平成 28 年 3 月 3 日に当社が設立した株式会社ビットポイントジャパン（仮想通貨取引所・交換所の運営、フィンテック関連事業の推進）、および、平成 28 年 8 月 10 日に当社が設立した株式会社ジャービス（ホテル等の宿泊施設の企画・開発・設計・運営、訪日観光客向けの各種情報サービス等の

提供)は、いずれも現時点で持分法非適用非連結子会社であります。特に株式会社ビットポイントジャパンが業として行う仮想通貨取引にかかる会計処理については、監査法人との間で鋭意協議中ではありますが、一般的な会計処理ルールが確定していないこともあり、連結決算を行う状況には至っておりません。今後、平成 29 年 3 月期財務報告に当たり、これらの子会社の業容・財政状態や当社グループの事業における重要性等を鑑みて連結対象とするかの判断を行い、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で、すみやかに連結業績予想の開示を行う予定であります。

なお、平成 29 年 3 月期の配当予想につきましては、予想額の開示が可能となった時点ですみやかに開示する予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上